



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを「職員の仲間」という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第30号

2021年11月7日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

「2021 SP研修会」

11月7日（日）、町勤労福祉会館で「SP研修会」が開催されました。日曜日の午後にも関わらず、約20名のSPさんが参加をしてくれました。休んだり、遊んだりしたいであろう日曜日に、わざわざ「東浦町で勉強しよう！」と思い足を運ぶSPさんたち……東浦町のSPさんたちはやはり志が高いです。学ぼうという貪欲な姿勢が素晴らしいです。そんなSPさんたちが集まったのですから、本当に心地の良い研修会になりました。こんなに心地の良い空気になるものなんだ、とビックリしました。この研修会について、通信に今すぐ書きたい！！私もそんな気持ちが溢れました。

東浦町のSP活動は、町全体で取り組んでいる事業です。それだけ関心の高い事業です。中村浩二先生も仰っていましたが、他の市町村でここまでのバックアップがあるところはないと思います。この日も、東浦町長、教育長、東浦町議会議員、教育部長、町内の学校の先生方、そして、美浜町教委指導主事（前 東浦中学校主幹教諭）が駆けつけてくださいました。

研修会の冒頭で、神谷町長が下記のことをお話されました。

- ・もともとすごく期待をしていた「SP活動」がどんどん広がっていつている。
- ・町全体で、推進校である片葩小のような活動になっていつて欲しい。
(Win×4……学校、子ども、保護者、学生、全員にとって有意義な活動になって欲しい)
- ・学生さんには自分なりの学びを得て欲しい。そして、東浦町で学んだことを将来使いつて欲しい。
- ・今、学校の授業を見学すると、正解のない問題を考えて意見を出し合う授業がよくなされている。でも、出し合つて終わってしまうこともある。これで本当にいいかのどうか、そこからどうしたらいいのか。今日は中村先生の講演をそんなところに注目しながら、聞いていきたいと思っている。

「SP研修会」の第一部では、東浦町SPコーディネーター兼授業アドバイザーをされている中村浩二先生の講演でした。テーマは「今求められている『主体的な学び』をどう創り出せばいいのか？」です。とてもタイムリーな、でも、難しいテーマです。私は、一番後ろの席から拝聴していましたが、SPさんたち、すごく集中して聞いていました。90分間の講演、大学の講義一コマと同じ時間ですが、一瞬で終わりました。（感想に「あっという間に終わりました」と書いていたSPさんもいました。）どのSPさんも終始うなずきながら、一生懸命考えながら聞いている様子が圧巻でした。「これ、きっと志高いSPさんたちだからこんなに一生懸命聞けるんだらうな」と思いました。もちろん、中村先生の講演の内容が素晴らしいのは言うまでもありません。私も何度も中村先生の講演を拝聴していますが、毎回引き込まれます。毎回新たな学びや気づきがあります。話し方、言葉選び、資料の見やすさ、パワーポイントの分かりやすさなど、「伝える」プロでもある中村先生だからこそ、SPさんも引き込まれるの



でしょう。内容もさることながら、そうした「伝え方」をも学べるのがSP研修会です。卒業生（シニアSP）も口々に、「中村先生は現場をずっと見ているから、現場のことをよくわかってくれているから、スッと自分の中に入ってくる。何度聞いても、中村先生の伝え方って本当にすごい。とても勉強になる。卒業してから、よりその凄さが分かった。」と話しています。講演の最後にも『伝える力』は『伝わる力』であり『コミュニケーションの権利は100%相手にある』というお話がありました。「学びの質の変革（教師主導の教える教育から、児童生徒主体の学ぶ教育へ）」が求められている今、自分が伝えたことが子どもに“伝わったかどうか”、目の前の子どもの姿を見て自らを振り返ることの出来る教員にならなければならないのだと、SPさんたちと一緒に勉強しました。頭で分かっているけど、「伝える力」も「見る力」も経験しなければ培うことのできない力だと思います。今回の研修会を受けて、普段のSP活動の中で意識しながら取り組むことで、きっとみなさんは他の新任の先生より一歩も二歩も先にスタートできるのだらうと思います。これからのSP活動の励みになる、そんな内容の講演会でもありました。



第二部は、「SPが求めるもの、SPに求められるもの」というテーマで、SPさん同士のグループ討議と発表がありました。この時間がまた最高でした。どのSPさんたちも和やかに、笑顔で話していました。コミュニケーション力抜群です。そして、その内容や姿勢からは、SP活動に対する強い責任感とやりがいと期待感を感じました。熱い討論でした。かけがえのない時間だったと思います。同じ志を持った仲間とこんなにも熱く語り合える時間は、きっとこの先の宝物になると思います。これからのSP活動や研修会などを通して、またぜひ語り合ってみてください。みなさんが何度も言っていた「SPだからこそ出来ること、学べること」の一つだと思います。

グループ討議後には、グループごとに一人ずつ代表で発表をしてもらいました。発表をしたどのSPさんも「さすが」の一言でした。突然のことでも堂々と発表していました。中には視線を意識したり、ボディランゲージを取り入れたりして話しているSPさんもありました。きっと大学でたくさん学んでいるのでしょう。こうした「大勢の前で話すこと」も貴重な経験ですよね。緊張したと思いますが、こうした一つ一つの機会も現場に出る前の経験値に繋がってくるはずです。

研修会が終わったあと、ほとんどのSPさんが残って後片付けをしてくれました。どのSPさんも、サッと動いてくれます。周りを見て、声を掛け合って。これができることがすごい。質が高い。「これお願い」というと、快く動いてくれます。あっという間に片付けも終わりました。終わったあとも、ウィークリーSPさん同士で話をして帰る姿もありました。素敵な姿です。



「SP研修会」の感想を会の終了後に書いてもらいました。どの感想も読ませていただきましたが本当に素晴らしい！！次号で掲載させていただこうと思います。楽しみにしててください。